

## 名前 \_\_\_\_\_

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストの復習用を解く	
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
③ 宿題用テキストの基本問題A・基本問題B・復習問題を解く	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、太陽(2)について学習しました。

地球が太陽のまわりを地軸を傾けたまま公転をしていることが、季節の変化の原因となっています。まず、太陽に対して地軸がどのように傾いているかに注目してどの季節なのか判断できるようにしましょう。

太陽の動きについては、透明半球を自分で書いて考えられるようにすることが理想です。また、透明半球を見たときには①方角②季節の2つのことがわかるようになりましょう。

太陽の南中高度については、「春分・秋分の日」の太陽の南中高度・「夏至の日」の太陽の南中高度・「冬至の日」の太陽の南中高度の3つの式は必ず覚えましょう。南中高度を計算させる問題は頻出です。

日影曲線については、透明半球同様、図の中で①方角②季節の2つのことがわかるようになりましょう。影は太陽に対して反対側に見える、という当たり前の感覚があればそんなに悩むことはないはずです。

地球上での太陽の動きの部分は、応用問題でしか出題されません。他の部分が理解できたらこの部分にも取りかかる、という姿勢で取り組みましょう。

地球儀があるならば、太陽の視点にたって、各季節の地球の傾きや、日本の位置の動きを確認してみてください。